

○河川水濁度調査の目的

河川水の「濁り」の調査及び調査データの公表を通じて、河川を介した一貫したシステムである「流域」の森林機能や森林施業への道民理解を促進するとともに、「濁り」を「濁度」という単位（NTU）で捉えて検証し、海域を含めた流域環境の保全を図ることを目的としています。

○濁度の簡易指標

無降雨時で10NTU未満です。

10NTU未満であれば目視では透きとおって見えます。

○調査対象河川及びその選定理由

【蘭越町尻別川水系矢筈の沢川】

当管理区76林班において、平成29年度に人工林伐採（小面積皆伐による複層林造成）を行い、平成31年度に植栽を計画していることから、伐採・植栽に伴う河川水の濁度変化の状況調査を行います。

【寿都町字歌棄潮路川水系界川】

当管理区136林班において、平成26年度に森林作業道の新設、平成30年度に人工林鼠被害伐・植栽があり、森林整備箇所が河口から3kmと近いことから、伐採・植栽に伴う河川水の濁度変化の状況調査を行います。

【豊浦町小鉾岸川】

当管理区90林班において、平成30年度に人工林伐採（小面積皆伐による複層林造成）を行い、平成32年度に植栽を計画していることから、伐採・植栽に伴う河川水の濁度変化の状況調査を行います。

○調査方法

定点観測とし、無降雨時及び降雨時の濁度の比較が可能な適時に調査します。

計測は、採水した水を入れた専用瓶を機器に入れて光をあてて、その散乱光、透過光の変化を捉えることで濁りを測定します。

○調査項目

- ・流域情報：土地利用の種類別面積（流域面積）、地質等の情報です。
- ・採水情報：年月日、時刻、採水地点の河口からの距離、川幅、濁度、水位、採水時の1時間あたり雨量（气象台データ）等の情報です。